



未来の先生展
2017

レゴを活用した体験の言語化

～21世紀型スキルのリフレクション力、問う力の獲得～

ワークショップ形式

開催日時 2017 年 8 月 27 日 (日) 14:20-15:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス 1号館2F 205教室

司 会 者 井澤 友郭 (こども国連環境会議推進協会 事務局長)

内容

新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」を実現するには、21世紀型スキルにもあるリフレクションのスキル、特に問う力、質問を生み出す力を学習者が獲得することが重要です。学習者が用意された「問い」に答えているだけでは、主体的で深い学びとは言いきれません。生徒自身が質問を作ることが探求への一歩となり、対話的でクリティカルな深いリフレクションを通して経験から学ぶことで、主体的な学び=自走する学びが実現できます。本プログラムでは、レゴ®シリアスプレイ®というGoogle、マイクロソフトなどの多数の企業や官庁で組織運営や人材開発のために採用され、成果を上げているメソッドを活用したリフレクションを参加型ワークショップで体験していただき、ポストイットやワークシートなどの書かせる言語化ではなく、手を動かして語る言語化が、問う力の獲得につながることを体感していただきます。

ここに注目！

レゴを活用した言語化は、デザイン思考やナラティブ・アプローチ、経験学習、U理論など、さまざまなメソッドを取り入れています。教師が答えて欲しいと思っている「正解」を当てるのではなく、自分自身が感じたことを手を動かしながらレゴを通して語り、さらに問いをつくり語り合うことで、様々な課題を「世界ゴト」ではなく「自分ゴト」として主体的に学ぶことを目指しています。主体的な人材を育てるために、対話的で構造的な学びの場をガイドすることは重要ですが、レゴを活用したメソッドは、大きなヒントになると考えています。経験学習、PBL、プレイフル・ラーニングなどに興味関心のある方は、ぜひご参加ください！

団体（個人）プロフィール



井澤 友郭 (いざわ ともひろ) こども国連環境会議推進協会 事務局長

大阪大学 大学院 招聘研究員、ワークショップ デザイナー、LEGO®SERIOUS PLAY®ファシリテーター

「持続可能な社会を実現する人を創る」をテーマに活動をしている教育NGO「こども国連環境会議推進協会」の事務局長として、2003年から活動。「持続可能な開発目標：SDGs」や「危機管理」をテーマに、課題解決やリーダーシップ開発などのワークショップを年間200回以上開催し、延べ1万人以上の社会人・学生を育成してきた。

参加者へのメッセージ

過去に参加した教育関係者、企業や自治体職員の感想メッセージを紹介します。

・レゴを活用することで「言葉」が与える意味合いよりも、より具体的にかつ深みのある考えを表すことができる (自治体職員)

・手は脳の一部とファシリテーターの方が表現していましたが、直感的にレゴを使って表現し、その抽象的なものを言葉の意味付けを行って表現すること…意味付けを行うために、意識の水面下の部分を掘り起こさせることが大切であると思いました (企業人事)

・言葉が自分の内面から沸き起こってくるという不思議な感覚を、多くの生徒に体験して欲しい (教員)

